



消防団たずね歩き

～先輩の知恵を継承する伝統ある神出支団～

西区神出町は、神戸市の北西部に位置し、北は三木市、西は稲美町に隣接し、面積20km²の農村地帯です。

神出支団は、火災・水害・地震などへの出動、年末の夜警など神出町民を守る活動に加え、発生が危惧される南海トラフ大地震による津波被害で市街地への応援出動も想定され、9分団18班261人の消防団員は、ポンプ等資機材の点検や訓練などを実施しています。また、神出ふれあいのまちづくり協議会主催の夏祭り、町民運動会、神出の里ウオーク、防災福祉コミュニティ主催の防災訓練などの行事で、安全管理や行事支援を実施しています。

以前にも神出支団を紹介しましたが、その後の環境変化対応とトピックスを紹介します。

近年、台風・大雨による家屋の浸水被害が頻発しているため、土のうを備蓄し迅速な対応を可能にしています。また、神出町の火災の傾向は野焼きなど焼却火からの延焼による発生が多く、山林への延焼が懸念されるため、町民への注意喚起を実施し、2月

には雌岡山での林野火災の消火訓練を計画しています。

トピックスとして当地区において昨年605m³、7時間を超える大火災が発生しました。水源が離れており小型動力ポンプの連結送水をおこない消火活動にあたりました。小型動力ポンプ連結操作法は毎年の神出支団ポンプ操法競技会で訓練・競技しており、連携もうまくできて消火活動に貢献することができました。また、配備されているデジタル携帯無線機を有効に使い、状況把握、指示等がすばやくできて、非常に成果がありました。

毎年、ため池用水路の氾濫で床下浸水が発生していましたが、今年は関連する自治会、水利管理会と協議を重ね、大雨が想定される場合は、上流のため池からの排水を他の水路に流す連絡網を構築し、ため池水路の氾濫を防止することができ、未然防止に結びつけることができました。

これからも、訓練を重ね、住民の生命・財産を守り安全・安心の確保のため尽力する所存です。（神出支団副支団長 西馬昌典）



年末機械器具点検時の一斉放水風景



防災福祉コミュニティ訓練風景



神出支団ポンプ操法競技会風景



土のう作成風景



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

